

「夢」叶えた 夏のパリで輝いた「白門アスリート」 五輪・パラリンピックの報告会



フェンシング団体で金メダルを獲得した永野雄大選手



フェンシング団体銅メダルの上野優佳選手



(写真左から) 報告会に参加したボクシングの岡澤セオン選手、ローイングの宮浦真之選手、フェンシングの永野雄大選手と上野優佳選手=多摩キャンパス3号館

2024年7～9月に開催されたパリ五輪、パリ・パラリンピックに出場した中央大学の学生・卒業生による報告会が10月11日、多摩キャンパスを主会場に開かれた。五輪には在学生1人と卒業生15人、パラリンピックは在学生1人が出場した。

報告会に参加したフェンシング男子フルーレ団体の金メダリスト、永野雄大選手(2021年法卒)は「大学のサポートをはじめ、周囲に支えられて金メダルを獲得できた」と感謝の言葉を述べ、オンライン参加したフェンシング男子エペ団体銀メダルの古俣聖選手(2020年法卒)は「出場決定とメダル獲得時に五輪の影響の大きさを感しました」と笑顔を見せた。フェンシング女子フルーレ団体銅メダルの上野優佳選手(2024年法卒)は「女子は史上初のメダル獲得でフェンシングの歴史を変えられた。夢を持って頑張り、叶えることができた」と振り返った。

パラリンピック水泳に2大会連続で出場し、50メー

トル背泳ぎの7位など複数種目で入賞した在学生の日向楓選手(理工1)は後楽園キャンパスからオンラインで参加。「自分の泳ぎをして悔いの残らないレースができた。4年後を目指すので、さらに応援をよろしくお願いします」と力強く話した。

〈報告会に参加した卒業生〉

- ▶ボクシング男子ライトミドル級 岡澤セオン選手 (2018年法卒)
- ▶ローイング(ボート)男子軽量級ダブルスカル 宮浦真之選手 (2019年文卒)
- ▶フェンシング男子フルーレ団体金メダル 永野雄大選手 (2021年法卒)
- ▶フェンシング女子フルーレ団体銅メダル 上野優佳選手 (2024年法卒)
- ▶フェンシング男子エペ団体銀メダル 古俣聖選手* (2020年法卒)
- ▶ハンドボール男子 杉岡尚樹選手* (2017年商卒)
- ▶ハンドボール男子 部井久アダム勇樹選手* (2022年法卒)

〈在学生〉

- ▶パラリンピック水泳(運動機能障害S5) 日向楓選手* (理工1)

※はオンライン参加